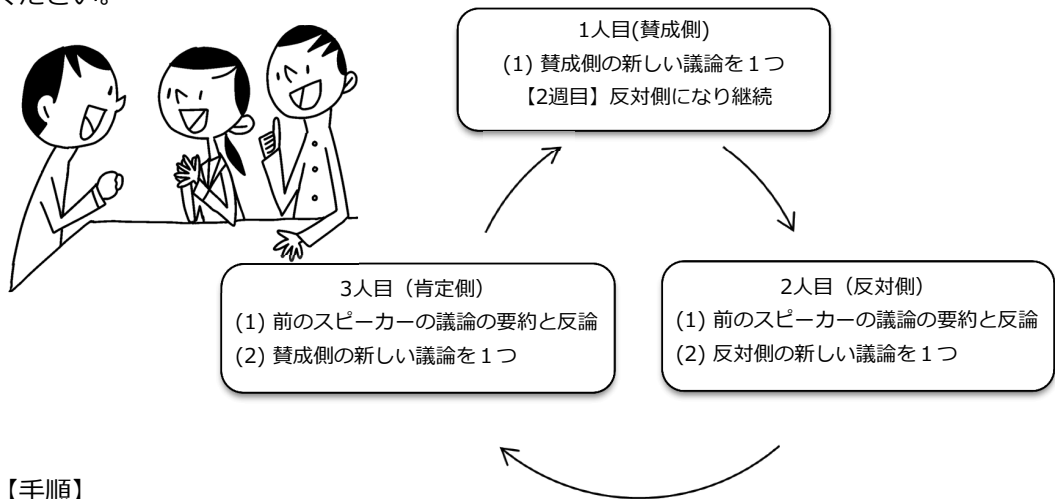


## ◆ Part 3 反論をする / Sec.4 「Summary & Refute」

紙の上で練習した次は、口頭で練習を行います。Summary & Refute という国際基督教大学の英語ディベート部で考案された練習方法です。以下の手順を読み、次のページの表現集を使って練習してみましょう。最初は手順になれるために、日本語でやってみてください。



- ① 3人のグループを作り、論題を1つ選びます。
- ② 誰か1人を起点に、時計回りに賛成側、反対側を交互に割り振ります。
- ③ 準備時間は与えず、すぐスピーチを始めます。賛成側の1人目が、論題を肯定する議論を1つ出します。(相手の話をちゃんと聞いて、手際よく反論をすることが練習の主目的なので、説明の不十分な議論で構いません。むしろ、あからさまにおかしい議論を出して相手が反論をしやすいようにした方がテンポも良くなり盛り上がります)
- ④ 反対側の1人目が前の人の議論をまず要約し、次に反論します。そして否定側の議論を1つ出します。
- ⑤ 賛成側の2人目が、反対側1人目の新しい議論だけを(1人目への反論は要約する必要はありません)要約し、反論します。そして、肯定側の新しい議論を1つ出します。
- ⑥ 1順目が終わった場合、賛成側と反対側の立場が自動的に変わります。つまりは賛成側であった者が、反対側になります。2順目が終わるまで続けます。(1番初めにスピーチをした人が、直前の人の反論をして終わりです)

★Summary & Refute は、3人いればいつでもどこでも可能な練習です。すきま時間を見つけて、出来るだけたくさんやってください。

- 練習記録メモ -

◆ **First speaker (On the Affirmative) / 1人目の人 (肯定側)**

Greeting	Hello everyone.
Motion	The motion before us today is ~ . I strongly support this motion.
Signposting	My argument is ~ (議論の見出しとなる名詞句).
Argument	(出来るだけ簡潔に肯定側の議論を説明します)
Closing	Therefore, I beg to propose. Thank you.

◆ **Second speaker (On the Negative) / 2人目の人 (否定側)**

Summary	The previous speaker said that ~ (直前のスピーカーの議論の要約).
Refutation	However, this is [ not true (doubtful) / not always true / not important / not relevant ] because ~ Therefore, his (her) argument does not stand.
Signposting	Let me move on to my argument. My argument is ~ (議論の見出しとなる名詞句) .
Argument	(出来るだけ簡潔に否定側の議論を説明します)
Closing	Therefore, I beg to oppose. Thank you.

◆ **Third speaker (On the Affirmative) / 3人目の人 (肯定側)**

Summary	The previous speaker said that ~ (直前のスピーカーの議論の要約). 注) 直前のスピーカーの出した <u>新しい議論</u> だけ要約します。直前のスピーカーの行った <u>反論</u> に対しては何も触れません。
Refutation	However, this is [ not true (doubtful) / not always true / not important / not relevant ] because ~ Therefore, his (her) argument does not stand.
Signposting	Let me move on to my argument. My argument is ~ (議論の見出しとなる名詞句) .
Argument	(出来るだけ簡潔に肯定側の議論を説明します)
Closing	Therefore, I beg to propose. Thank you.